

左官技能のみえる化

このテーマのキーワード	技能者、技能、みえる化、伝承、教育、左官
関連するSDGs開発目標	 

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

近年我が国の建築業界において、技能者の高齢化、減少による慢性的な人手不足や後継者の不在が課題となっている。対策のひとつとして若い技能者の育成があげられるが、技能の修得には多くの時間と経験を要すると考えられており、十分な対応はできていない。

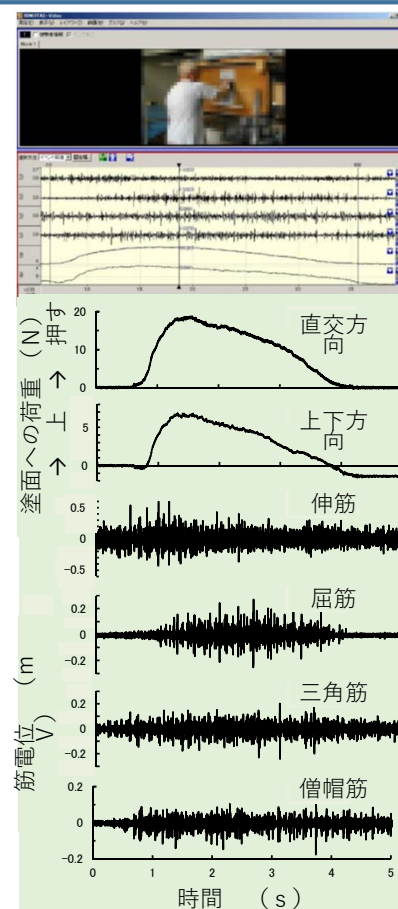
本研究では、代表的な建築技能のひとつである左官技能について、動作時の記録、解析を行い、技能の修得の一助となるような技能のみえる化を試みる。

(概 要)

モルタル塗り動作時の塗面にかかる荷重と筋電位などを用いて、熟練技能者と初学者の差を第三者が理解できるかたちに取りまとめる（技能の差をみえる化する）。

(期待される効果)

技能のみえる化できれば、従来よりは短期間で修得が期待できる。また、技能の上達が早まれば、技能修得の意欲も増し、修得間もない技能者のさらなる技能向上が期待できる。



想定される適用分野・用途・業界

- 技能のみえる化については、建設業のみならず、技能に関わる多くの分野に関連するものとする。

産業界へのアピールポイント

- 技能のみえる化は、将来の技能の保存、アーカイブ化にも有効と考える。

建設学科 高橋 宏樹 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880